ETERNUS DX60/DX80 ディスクアレイ

セットアップガイド(iSCSIモデル用)

P3AM-3092-04

まず、このセットアップガイドをお読みください。

本書は、ETERNUS DX60/DX80 (iSCSIモデル)の設置から運用までの流れを示しています。

⚠注意

指示

本装置をご使用になる前に、添付の『安全上のご注意』を必ず確認してください。

参照 安全上のご注意

セットアップの流れ

1 事前準備
2 設置
3 ケーブルの接続
4 装置の電源投入
5 装置の基本設定
6 装置の監視設定
7 サーバとの接続
8 運用と保守

本ガイドに記載されている会社名、製品名、サービス名は、一般に各社の商標または登録商標です。Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

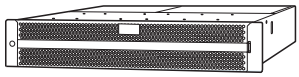
本書の最新版や本装置に関する最新の情報は http://storage-system.fujitsu.com/jp/products/diskarray/dx-entry/ で公開されています。

STEP 1 事前準備

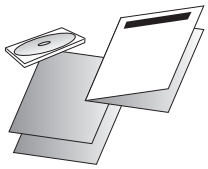
1 梱包物の確認

『梱包物の確認』をご覧になり、梱包物がすべてそろっていることを確認してください。

□ 本体



□ ドキュメント類



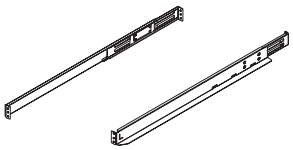
以下のマニュアルを準備してください。

- Documentation CD
- 『安全上のご注意』
- 『梱包物の確認』
- サーバやネットワーク機器の取扱説明書

ETERNUS SF Expressをご利用になる場合は、以下を準備してください。

- ETERNUS SF Express メディアパック
- 『ETERNUS SF Express ユーザーズガイド』

□ ラックマウントキット



□ ケーブル類

参照 梱包物の確認

2 設置・接続の準備

設置場所のスペース

本装置を搭載するラックのサービスエリアに従って、設置スペースを確保してください。

設置場所の条件

『安全上のご注意』の「設置について」に記載されている条件をすべて満たす場所に設置してください。

周囲環境条件

温度5～40℃、湿度20～80%RH

電源コンセントの確認

必要な電源コンセントの形状と数を確認してください。

参照 ・安全上のご注意
・取扱説明書「5.1 設置の準備」「6.1 接続の準備」

3 設定の準備

Network Settingシールの記入と貼り付け

以下の情報を記入して本装置に貼り付けてください。

- 本装置用のIPアドレス／サブネットマスク
- 保守作業時に使用するIPアドレス

PCの設定

- ネットワーク環境設定
  - IPアドレス：192.168.1.2
  - サブネットマスク：255.255.255.0
- Webブラウザの設定
  - プロキシサーバ、キャッシュ：無効
  - JavaScript、スタイルシート、Cookie：有効

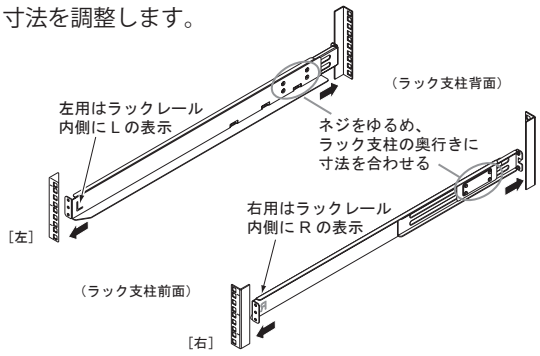
参照 取扱説明書「7.1 設定の準備」

次の手順へ

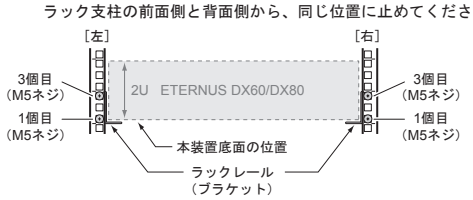
STEP 2 設置

ラックにレール（ブラケット）を取り付けて、本装置を設置します。

1. 搭載するラックに合わせて、ラックレール（ブラケット）の寸法を調整します。



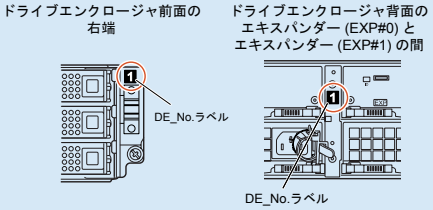
2. ラックレール（ブラケット）をラックに取り付けます。
本装置のサイズは2Uです。



3. 本装置をラックに搭載します。

重要

- 本装置をラックに搭載したり、ラックから取り外したりする場合は、担当営業員または担当保守員に連絡してください。
- ドライブエンクロージャを複数台搭載する場合は、ドライブエンクロージャに貼り付けてある「DE_No. ラベル」の番号の順に、コントローラーエンクロージャの上に搭載してください。DE_No. ラベルは、以下の位置に貼付されています。



4. 本装置をラックに固定します。

参照 取扱説明書
「5.2 ラックへの搭載」

STEP 3 ケーブルの接続

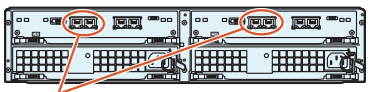
本装置背面のコネクターに各ケーブルを接続します。

ポイント ケーブルの管理を容易にし、ケーブルの接続ミスなどを防止するため、各ケーブルにラベルを貼り付け、接続元や接続先を記入してください。

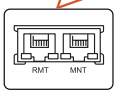
重要 ケーブルにストレスを加えないように接続してください。

1 LAN ケーブル（運用管理用）

装置背面



ケーブル

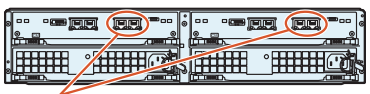


左がRMTポート、右がMNTポートです。
リモート通報サービスをお客様のネットワークと切り離して運用する場合は、RMTポートにもLANケーブルを接続してください。

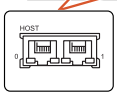
参照 取扱説明書
「6.2 LANケーブル（運用管理用）の接続」

2 LANケーブル（ホストインターフェース用）

装置背面



ケーブル



左が0、右が1です。各CMのポートにLANケーブル（エンハンスドカテゴリ5対応）を接続してください。

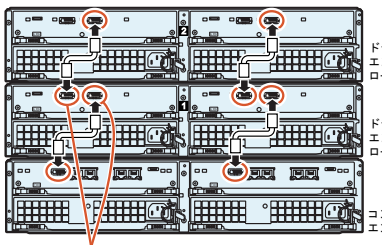
参照 取扱説明書
「6.4 LANケーブルの接続（iSCSIモデル）」

3 miniSAS ケーブル

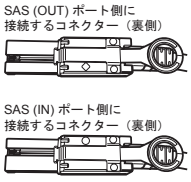
ドライブエンクロージャを搭載している場合、各エンクロージャのSASポート間をminiSASケーブルで接続します。コントローラーエンクロージャとドライブエンクロージャ1、ドライブエンクロージャ1と2、2と3、・・・のように順に接続してください。ドライブエンクロージャの番号は「DE_No.ラベル」で確認できます。

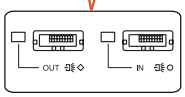
miniSASケーブルの接続例
（ドライブエンクロージャを2台搭載している場合）

装置背面



ケーブル





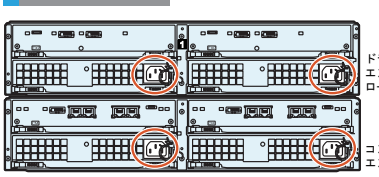
左がSAS (OUT) ポート、右がSAS (IN) ポートです。
SAS (OUT) ポートには、裏側に◇が付いているほうのコネクターを接続してください。
SAS (IN) ポートには、裏側に○が付いているほうのコネクターを接続してください。

参照 取扱説明書
「6.6 miniSASケーブル（ドライブエンクロージャ用）の接続」

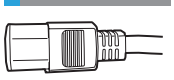
4 電源コード

電源コードは、リリースタイで抜けないように固定してください。

装置背面



コード



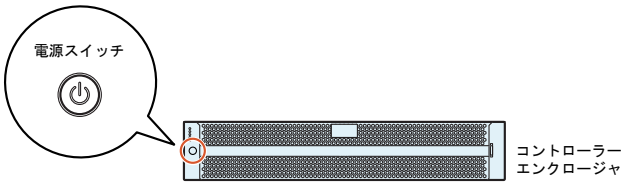
参照 取扱説明書
「6.7 電源コードの接続」

STEP 4 装置の電源投入

PCと本装置をLANケーブル(運用管理用)で接続して、本装置の電源を投入します。

参照 取扱説明書「7.1 設定の準備」「7.2 装置の基本設定」

重要 はじめての電源投入時、出荷時のボリュームフォーマットが実行される場合がありますが、そのまま本装置の設定作業を継続できます。



STEP 5 装置の基本設定

基本的な設定は「初期設定」と「構成設定ウィザード」で簡単に行えます。

1. PCでWebブラウザを起動し、Webブラウザのアドレスバーに以下のどちらかのURLを入力します。
   http://192.168.1.1/
   https://192.168.1.1/
2. ログオン画面が表示されるので、以下のユーザー名とパスワードを入力して、[ログオン]ボタンをクリックします。
   ユーザー名: root
   パスワード: root (初期設定)
3. ログオンすると、装置状態表示画面が表示されます。

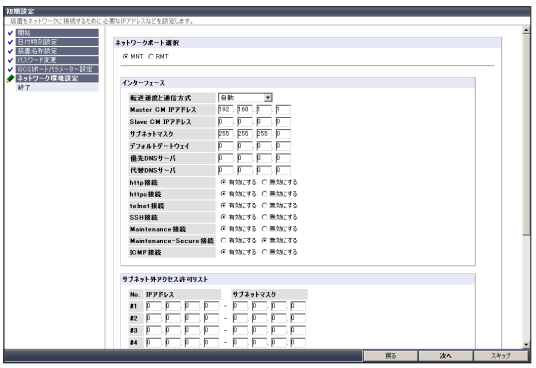
ポイント ETERNUS SF Expressをご利用になる場合は、以下の設定のみを行ったあと、『ETERNUS SF Expressユーザーズガイド』を参照し、ストレージシステムの導入を行ってください。

1 初期設定
- 日付時刻設定
- 装置名称設定
- パスワード変更
- ネットワーク環境設定

1 初期設定

初期設定で本装置の運用に必要な環境を設定します。
初期設定画面は、[簡易設定]タブの[初期設定]メニューをクリックすると表示されます。
ここでは次のような項目を設定します。

- 日付時刻設定
- 装置名称設定
- パスワード変更
- iSCSIポートパラメーター設定
- ネットワーク環境設定

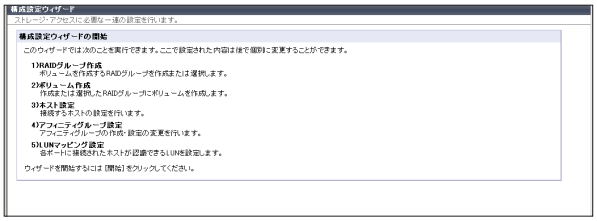


設定後、Webブラウザを終了します。
PCからLANケーブル(運用管理用)を取り外し、お客様のネットワークに接続してください。
その後、ネットワークに接続されているPCでWebブラウザを起動し、設定したIPアドレスで再ログオンします。

参照 取扱説明書「7.2.1 初期設定」

2 構成設定ウィザード

構成設定ウィザードで本装置の運用に必要な設定を行います。
構成設定ウィザードは、[簡易設定]タブの[構成設定ウィザード]をクリックすると表示されます。



- RAIDグループ作成
- ボリューム作成
- ホスト設定
- アフィニティグループ設定
- LUNマッピング設定

参照 取扱説明書「7.2.2 構成設定ウィザード」

ポイント 工場出荷時にRAIDグループ、ボリューム、およびアフィニティグループが設定されています。工場出荷時の設定を変更する場合は、『Web GUI ユーザーガイド』を参照して設定を行ってください。

3 ホットスペア登録

ディスク故障時に備え、ホットスペアを登録します。
ホットスペア登録画面は、[ボリューム設定]タブの[RAIDグループ管理]メニューから[ホットスペア登録]をクリックすると表示されます。

参照 取扱説明書「7.2.3 ホットスペア登録」

ポイント 工場出荷時の設定を確認し、必要に応じてホットスペアを登録してください。

STEP 6 装置の監視設定

必要に応じて、本装置の監視設定を行います。

- 本装置に異常が発生した場合にイベントの通知を行う場合は、イベントの通知方法とレベルの設定が必要です。
- 本装置に発生した異常をメール(E-mail)で通知する場合は、送信先のメールアドレスの設定が必要です。
- サーバ監視ツール「ServerView」による監視を行う場合は、本装置からサーバへSNMPトラップを送信するための設定が必要です。
- リモート通報サービスを運用する場合は、本装置の故障をリモートサポートセンターに通知するための設定が必要です。

ポイント
- リモート通報サービスをご利用いただくと、トラブルの早期発見が可能となり、短時間でトラブルを解決できます。
- リモート通報サービスは、有償サービス「SupportDesk Standard」をご契約いただくと利用することができます。

参照 取扱説明書
「7.4 装置の監視設定」

STEP 7 サーバとの接続

サーバと接続するために必要な設定を行います。接続するサーバのOSやLANカード／iSCSI HBA、スイッチングハブを確認のうえ、各種ドライバのインストールやスイッチングハブの設定などを行ってください。
設定の詳細は、『ETERNUS DX ディスクアレイ iSCSI接続手順書』(*)を参照してください。
*： Documentation CD内の指定のサイトからダウンロードできます。

参照
- 取扱説明書「7.5 サーバとの接続設定」
- ETERNUS DX ディスクアレイ iSCSI接続手順書
  - Solaris™ Operating System用
  - Windows®用
  - HP-UX用
  - VMware® ESX用
  - Linux (Red Hat Enterprise Linux)用
  - Linux (SUSE Linux Enterprise Server)用
  - ETERNUS DX ディスクアレイ設定編 ETERNUS DX60/DX80用

これでセットアップが終了しました。運用を開始できます。

STEP 8 運用と保守

装置の状態確認

定期的に本装置のLEDやWebブラウザから、本装置の状態を確認してください。

データのバックアップ

万一の状態に備え、重要なデータについては、定期的にテープ装置などにバックアップをとるようにしてください。

無償修理

保証書に記載された内容に従い、無償修理を行っています。

保守サポート期間

保守サポート期間は、お客様が本装置を購入後5年間です。

SupportDesk Standard（有償サービス）

「SupportDesk Standard」のご契約をお勧めします。
このサービスをご契約いただくと、「ハードウェア異常のリモート通報」、「定期点検」、「ハードウェア／ソフトウェアの問題解決支援」、および「お客様専用ホームページでの運用支援情報の提供」などのサービスを受けることができます。

ETERNUS DX60/DX80 ディスクアレイ セットアップガイド
（iSCSIモデル用）
P3AM-3092-04
発行日　2010年7月
発行責任　富士通株式会社
Printed in Japan

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書の内容は、細心の注意を払って制作致しましたが、本書中の誤字、情報の抜け、本書情報の使用に起因する運用結果に関しましては、責任を負いかねますので予めご了承願います。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
● 無断転載を禁じます。
● 乱丁、落丁はお取り替え致します。

このマニュアルは再生紙を使用しています。